▼クリースビータ皮下注　［注］

【重要度】★★透析患者に投与禁忌　【一般製剤名】ブロスマブ（遺伝子組換え）　Burosumab（Genetical Recombination）　【分類】ヒト型抗 FGF23 モノクローナル抗体

【単位】▼10mg・▼20mg・▼30mg/V［1mL］

【常用量】

■FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症

4 週に 1 回 1mg/kg［最大 1 回 90mg］適宜減量

■腫瘍性骨軟化症

4 週に 1 回 0.3mg/kg［最大 1 回 2mg/kg］

【用法】皮下注

【透析患者への投与方法】禁忌（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】重度の腎機能障害患者又は末期腎不全患者に禁忌（1）

【特徴】抗 FGF23 抗体で，FGF23 関連低リン血症性くる病・骨軟化症に適用.

【主な副作用･毒性】

【安全性に関する情報】

【F】ほぼ完全に吸収（1）

【tmax】約 1 週間（1）

【代謝】イムノグロブリンの代謝経路をたどると推定（1）

【排泄】

【t1/2】336hr（1）

【蛋白結合率】

【Vd】0.1～0.15L/kg（1）

【MW】約 14.7 万

【透析性】透析されない（5）

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20230822

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。